

東日本大震災による林業関係被害と復旧状況について

岩手県農林水産部林業振興課

主任主査 田村 聡

1 背景

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波による岩手県の林業関係被害額は296億円となっています。（平成23年12月20日現在）

震災発生から約11か月経過しましたが、その間、森林・林業関係者を含む全国各地から様々な支援をいただきました。

県では、木材加工施設の復旧支援や、治山・林道施設の災害査定及び災害復旧を進めているところであり、現在の復旧状況や今後の取組みについて報告します。

2 被害の状況

[表1]東日本大震災津波による林業関係被害の状況(H23.12.20現在)

被害項目	箇所数等	被害額 (百万円)	備考
林業施設	林産	46 箇所	13,006
	特用林産	87 箇所	273
	治山	55 箇所	8,078
	林道	473 箇所	790
	計	661 箇所	22,147
林地荒廃	35 箇所	763	
森林	県有林	67 ha	3,197
	市町村有林	43 ha	2,164
	私有林	668 ha	593
	計	778 ha	5,954
林産物	木材	30,437 m ³	571
	薪炭	2,460 m ³	9
	特用林産物	4,111 kg	4
	その他	922.3 千本・千玉	170
	計		754
合計		29,618	

3 主な施設等の復旧状況

(1) 林産施設等（木材供給緊急対策事業（1次補正））

- ・木材加工機械の入替、建屋の修繕（3件 事業費890百万円）
- ・販路を失った原木等の運搬経費の支援
(約12万m³ 事業費300百万円)

(2) 治山施設

- ・施設災害18地区の災害査定が完了し、事業の実施が決定
(決定額 約7,868百万円 ※仮決定を含む)

(3) 森林被害

- ・防潮林等の流失森林のガレキの撤去及び復旧方法の検討
- ・林野火災跡地の復旧に向けた、森林所有者の意向調査が完了し、今後、再造林等の復旧作業に着手

4 今後の取組み

国が第三次補正予算により措置した、「木材加工流通施設等復旧対策」、「森林整備加速化・林業再生事業」、「山林施設災害復旧等事業」などを活用し、被災した木材加工施設や治山・林道施設の本格的な復旧を進め、岩手の森林・林業木材産業の1日も早い復興に取り組んでいきます。

